



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O TOSHIHIDE AKIZUKI
8-3-410 NISHIKURACHO ASHIYA
HYOGO JAPAN

DECEMBER 1997. No. 6
The Service Club to the YMCA
Chartered September 25, 1982

MOTTO (1997~1998)

○IP & AP

"REALIZING TOGETHER OUR VISION"
2000 CLUBS TOWARD THE YEAR 2000

"共に目ざそうビジョンの実現—2000年2000クラブ"

○RD "ビジョンを掲げ、青年と共に働くワイズ"

Let's serve hand in hand with Youths under Y's Vision!

○DG "新たな感動 新たな奉仕"

○CP 「友と語ろう、生き甲斐を見つけよう、感謝を形にしよう」

= 月間強調テーマ: 『WELLNESS』 =

★ ☆ A MERRY CHRISTMAS ☆ MELE KALIKITMAKA ☆ 恭賀聖誕 ☆ クリスマスおめでとう ☆ ☺

12月の聖句

「初めに言(ことば)があった。言は神と共にあった。言は神であった。

言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。」

(ヨハネによる福音書 第1章1節及び14節)

【強調月間 WELLNESS】

ワイズの奉仕活動のみならず、すべての事業活動に、ウェルネスの考え方を理解し、例会で実践してください。必ず、ご自身にとっても、役に立つ大切なことなのです。

= 12月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people

黒田君 2日 堀君 2日 中村君 26日

= 12月第2例会 =

日時: 1997年12月25日(木) 6:30 p.m.

場所: リーガランドホテル

★今回は12/24(水)を12/25(木)に変更します。

12月第1例会

日時: 1997年12月17日(水) 6:30 ~ 8:30 p.m.
場所: リーガランドホテル

- 《第1部》 司会: 池永 洋宣 君
1. 開 会 点 鐘 藤原 正巳会長
 2. ワイズソング 一 同
 3. 聖 句 朗 読 黒田 殿之 君
 4. ゲ ス ト 紹 介 藤原 正巳会長
 5. 入会式(芳崎栄治君) 藤原 正巳会長
 6. お 誕 生 日 祝 い 一 同
 7. 役員会・委員会報告・YMCAニュース

- 《第2部》 司会: 池永 栖子 君
1. 日々の糧及び黙 禱 一 同
 2. 乾 杯 鈴木 謙介 君
 3. 会 食・懇 親 一 同
 4. みんなで歌おうクリスマス 福永 嘉彦 君
 5. 一緒に楽しくクリスマス 神田 尚人 君
 6. クリスマス・プレゼント交換 神田 尚人 君
 7. ラッキー・ドロー MET鷗 秋月 利英 君
 8. 閉 会 点 鐘 藤原 正巳会長

= (本例会で全員の写真撮影を行います) =
* (上記例会には、お一人1,000円程度の交換プレゼントをご用意いたします。)

◎12月第1例会当番: (第4班) 黒田君, 谷川君, 隅田君, 掛江君, 池永(洋)君,

《今月の聖句に寄せて》

夏のある日蟻がせっせと獲物を自分たちの巣に運んでいます。ところが私たちから見ると、その蟻たちの通う道が随分遠回りしているように見えるので、箸で蟻をつまんで近い通路へ置いてやりました。しかしその人間の親切な思いは蟻には通用せず、「ありがとう」と云うどころか、その蟻はただ懸命に逃げるばかりでした。すなわち、蟻に正しい通路を教えるには、人間が蟻になって、蟻の言葉で教えねば通じないということを物語っています。

神様も人間もが、みすみす間違った道歩んでいるのを御覧になって、正しい道を歩むように導びこうとされるのですが、言葉が通じません。そのため独り子のイエス・キリストを人間の社会に降ろして(人間の歴史の中に実在させて)、その言葉や生き方を通してその意志を伝えようとしておられます。

これがイエス・キリストの降誕の意味であり、クリスマスの本当の意味です。クリスマスにあたり、キリストの誕生を祝うだけでなく、現在世界や日本や近隣社会が直面している課題を考え、少しでもその解決に努力するのが、ワイズメンに与えられている使命ではないでしょうか。

(聖句選・解説：黒田嚴之)



(ビデオで挨拶される山中秀男前会長)

8年の駐在員生活を終え、帰国してしばらくした所で、近々新しいY'sメンズクラブが出来る、それに参加しないかとお誘いを受け、しばらく大阪クラブ、土佐堀クラブに見習いで出席しておりました。

1982年(昭和57年)設立間近になった所で、鈴木謙介さんより、「私が書記をするから会長をなささい」とお話をいただきました。労働組合の役員を10年以上しておりましたので、大体似たようなものでしょうと気軽に引き受けましたが、会う人毎に「国際会長を務められた方が書記で、全く新米が会長になるとはすごいクラブですね」と口々に言われる。時が経つに従って、鈴木さんのすごさが自分にも分かってき、人事とはこんな手を打つものかと、その後の教訓になった事は計り知れません。

センテニアルクラブの名の由来が鮮明によみがえってきます。候補の名は殆ど地名に関連したもので、堂島Y'sメンズクラブが最有力候補でした。今一つピンと来ないかと話しをしていた時、鈴木さんから、世界のY'sメンズクラブの名簿を見ていた時、「赤毛のアン」で有名なカナダプリンス・エドワード島、シャロットタウンのY'sの名がセンテニアルクラブで、カナダYMCA 100周年を記念して出来たらしいと話があり、皆で異口同音にそれがよろしいと一気可成に決まりました。早速、設立総会、チャーターナイトに先輩センテニアルクラブから祝電を頂こうと手紙で依頼を出しましたが、梨のつぶて、全く返事ありませんでした。再々手紙を出しましたが同じで、業を煮してシャロットタウンのYMCAに電話をしたところ、数年前にセンテニアルはつぶれてしまい、現在同市にはアルファY'sメンズクラブしかなく、受取人不明のまま放置してあった事が分かりました。チャーターナイトの折、このアルファY'sドナルド・ウォサム会長から祝電をいただきました。

センテニアルは大阪YMCA 100周年記念のクラブですが、100へのかかわりがこのクラブにはあります。(次頁へ続く)

▽▽ (11月第1例会でのビデオによるご挨拶の第一幕より掲載) ▽▽

大阪センテニアルクラブ
15周年を迎えて

初代会長 山中 秀男

大阪センテニアルクラブの皆様、今晚は、すっかりご無沙汰をしています。

センテニアルクラブのブルテンを今も送っていただき、毎度なつかしく、ご活躍の皆様顔を浮かべ、メネットちあきと話し合っています。

センテニアルクラブが15周年を迎えられ記念すべき時、丁度中国に出張中で、今日19日(水)は上海にいます。出席できませんので、ビデオでご挨拶させていただきますと思います。

第一部センテニアルクラブ誕生前後と第二部最近訪問した各国のYMCA、Y'sメンクラブの活動報告に分けて話させていただきます。

そもそも、私がY'sメンと係わりましたのは、1974年(昭和49年)当時私の上司の上司でありました鈴木謙介常務が、米国ワシントンD.C. ショアハム・アメリカーナホテルで開催された国際大会に出席され、会いに行きましたのが始まりです。

① 鈴木さんが次期国際会長として出席されたワシントンD. C.での大会を報告した日本区報は100号でした。

② センテニアルの兄弟クラブ土佐堀は、米国YMCA, 100周年センテニアルコンベンションと銘打って行われた1951年(昭和26年)設立されています。1982年(昭和57年)6月16日(水)中央電気倶楽部で設立総会が開催されました。

会長モットーを Onward Centennial としました。100年を振り返り、次の100年を展望して進むという意気込みがありました。

もう一つは、私の大好きな讃美歌が Onward, Christian Soldiers なのです。洗礼というルビコン河を渡っていませんが、家族で毎週バプテリスト教会に通っていた half christian です。気がなえそうになる都度、このマーチのような讃美歌をリクエストして勇気を振り立たせていました。

- Onward, Christian soldiers, Marching as to war,

With the cross of Jesus Going on before; -

この歌の第四節にセンテニアルの未来の姿をダブらせていました。

- Onward, then, ye people, Join our happy throng,

Blend with ours your voices...-

設立総会の折、挨拶の中に詩の一節を入れ朗読しました。(これは読み人知らず、私の日記の中にはさんでいた切抜の引用です)

私の前を歩かないで下さい

私はついて行けません

私の後ろにならないで下さい

私は導くことは出来ません

どうぞ肩をならべて歩いて下さい

真の友人になるために

1982年9月25日(土)ロイヤルNCB会館で、チャーターナイトが、第一部 加盟認証状伝達式が谷川 寛さんの司会、第二部 記念講演は正司泰子さんの司会、第三部 祝宴は中村隆幸さんの司会で催され、走馬灯のように思い出されます。

(上記ご挨拶の第二部は、次号に掲載予定です。YF)

[註] 上記『讃美歌』“Onward, Christian Soldiers”は、日本では、379番(米国の“Pilgrim Hymnal”では、382番“Pilgrimage and Conflict”)にある“見よや、十字架の旗たかし…”として、S. Baring-Gould 作詞、A.S. Sullivan作曲による有名な歌です。1865年、十字架と旗とを掲げて村から村へ行進する子供の祝祭のために作られた歌といわれており、悪に対する戦いの歌として、はぎれよく、勇ましく、力強く、行進曲のように歌いたい讃美歌です。なお、今年発行された『讃美歌 21』には掲載されておりません。(『讃美歌』日本基督教団などによる) (Y.F.)



(15周年記念に際して撮られたチャーターメンバー達)

= 11月第1例会報告 =

(11月19日(水) 6:30p.m.)

福永 嘉彦

今回の開会点鐘で、藤原正巳会長から、まず我々センテニアルワイズメンズクラブにとってチャーター15周年を記念する例会である旨の趣旨が説明されて、始められました。

この例会には、チャーター当時の大阪クラブ会長の遊上義一氏が出席され、またチャーターメンバーで現在なかのしまクラブ会長の杉浦真喜子氏も来られ、記念例会の活気が溢れました。ゲストに高井智彦さん、広井恵美子さんもお迎えしていました。只、今回入会式を予定していた芳崎栄治氏が、他のスケジュールの関係で欠席されたのは、残念でした。

今回の卓話は、まず山村幸明BF委員長よりBF強調月間に因んで、BF目標(3,000円/1人)達成への協力依頼のアピールがありました。切手集めの最初の出会いの経緯、他の会社の従業員にも手伝って貰っての切手集めなど興味あるお話を次々と披露されましたが、さらに山村メネットの古着集めにも及びました。Y'sとして切手を集めることの意味など貴重な教訓を受けることが出来ました。

次いで、山中秀男初代会長が、チャーター当時の思い出などをビデオ・レターによって私達に話されました。(同氏は当日丁度上海に御出張中とのこと)

第1部は、当クラブ誕生前後の話(別掲参照)で、設立の経緯と会長就任の心境が披露されて、Y'sの真意が縷々語られました。第2部は、最近訪問された各国YMCA, Y'sメンズクラブの活動報告(次号プリテンに掲載予定)が多くの事例を挙げて話されました。

卓話の後、チャーターメンバーに対し、今日までの活躍が表彰されました。茲で、黒田、鈴木、柴田各メン、中村メネット、田中、山田、山村各メンの順に90秒間でそれぞれの当時の思い出や感想、意見や希望などが語られました。それらの中には、〇我々のクラブは共通の目標により強い絆で結ばれているので、これを以て

(次頁へ続く)

= 1 1 月 第 2 例 会 報 告 =
(11月26日 6:30p.m.)



(BF目標などアピールをされる山村朝委員長)

書記 三浦 直之

1. 12月度第1例会プログラム：(別掲の通り)
交換プレゼントとして1,000円程度のものを各自用意する。全員写真は栗山君にお願いする。
2. 12月第2例会は、12月25日(木)に1日ずらす。
次期役員選考会を行う。
3. 1月第1例会(1/21/98)プログラム：
月間強調テーマはIBC, DBC。
IBCアピール：谷川君('99ハワイでのIBCの件など)
卓話：(ウエルネスに関して)池永栖子君にお願いする。
4. その他：
 - ①大阪YMCA第4回チャリティーラン実行委員登録：
秋月君、栗山君、三浦の3名を登録する。
12/1日実行委員会開催(於大阪YMCA)三浦出席。
 - ②大阪北YMCAクリスマスコンサート(12/16)協力の件
 - ③区・部・各クラブ案内：
 - 新版「ワイズ国際協会75周年誌」
2月1日迄 US\$15
 - 奈良クラブ第17回奈良春日大仏マラソン(12/7)
神戸ポートチャーター10周年記念行事(5/9/98)
(別掲参照)
 - 森林と市民を結ぶ全国の集い(2/21~22/98)
実行委員長：大阪堺クラブ滝口氏
 - 「ユースクラブ(Y3WEST)活動報告」
 - 「西日本区役員会における中西部長報告」
 - ④横浜とつかクラブとのDBC提携は、取止めることになった。
 - ⑤例会出欠表：三浦が担当する。 ***

今後も一層推進したい。○今日までの各メンバーの貴重な活躍ぶりに対する評価への思い、○連絡主事としての思い出、○15年間の推移についての諸問題、減少したメンバー数の復元のこと、○お互いの出会いのことなど、いろいろな貴重なお話を伺うことが出来ました。最後に遊上元大阪クラブ会長よりご挨拶を頂き、新しいクラブを生み出した意気込みを始め、種々ご感想を述べられました。

続いて、秋月メンより、今回の記念にエンダウメントファンドとしてUS\$300を西日本区事務局に振込んだ旨報告がありました。メネット会長からは、ファンドについて、コーヒー斡旋のアピールと角メンよりYMC Aのクリスマス祝会(12/18)、マザー・テレサの写真展、来年のチャリティーラン(5/31/98)の案内など、杉浦なかののしま会長より同クラブのクリスマスパーティのお誘い、藤原会長より、大阪北YMCAのクリスマス・コンサート(12/16)の案内、当クラブのクリスマス例会のアピール、山田メンよりマリンバのコンサート(収益の一部をスペシャル・オリンピックに寄付)など、それぞれ報告がなされました。最後に、90秒スピーチで一番短かった60秒の中村メネットが今回の表彰状を受けられました。8:40p.m.終了。 ***

[記事訂正] ブリテン 11月号第1面に掲載の「11月の聖句」中、4行目1語目の「が」は誤りにつき、「は」に訂正します。申訳ありません。(YF)

11月在籍者	11月 出席者		11月出席率	BFポイント
25名		第1階	56.0% (1ヶ月7割)	11月分切手 594gr. 現金 4,500円
広義会員	メン	14名		
0名	メネット	6名	前月出席率	本年度累計 切手 2,528gr. 現金 19,600円
合計	コメント	0名	修正 - %	
25名	ビジター	2名		(購"11月BF誌"をご覧)
	ゲスト	2名		
	合計	24名	7名	

役員

会長：藤原 正巳
副会長：津田葉清政
"：栗山 佳三
書記：三浦 直之
"：坂本 哲朗
会計：秋月 利英

◎11月ニコニコ献金：20,425円、 記念献金：40,000円

神田 尚人

* 土佐堀ギャラリー

マザー・テレサ追悼写真展「あふれる愛」

日程：12月15日(月)～23日(祝)

場所：大阪YMCA会館 1F ロビー

20年前よりマザー・テレサの貧民救済活動を撮り
続けておられる写真家沖守弘氏の作品展。

* 土佐堀クリスマスのつどい

日時：12月18日(木) 午後6時半～8時半

場所：大阪YMCA会館 10F チャペル

内容：

1部 講演「マザー・テレサの愛と平和に学ぶ」

講師：是枝律子氏(看護婦。マザー・テレサ
と共に働き、現地に不足する医療器具や物品
を運び献金を手渡す「サンチの会」を発足)

「天使の歌声」宝塚カトリック教会子ども聖歌隊

2部 クリスマスソングとゲーム

会費：500円

* 早天祈禱会「クリスマス特別礼拝」

日時：12月19日(金) 午前7時半～8時半

場所：大阪YMCA会館 10F チャペル

奨励：山本 登牧師(川口基督教会)

会費：300円(軽食代)

* 大阪YMCAユースリーダーの日のつどい

日時：12月23日(祝) 午前11時半～1時半

場所：大阪YMCA会館 2F ホール

内容：トーク&ソング マイク眞木

記念プログラムとして礼拝を持ち、「キャンプだ
ホイ」の作詞・作曲者のマイク眞木さんを迎えて
キャンプソングを歌います。

* 12月のYMCAニュースをこのように並べてみ
ると、やはりYMCAだなあとうれしく感じます。
クリスマスに名を借りた年末の乱痴気騒ぎ、形だけ
のプレゼント、そして昨今は若者がカップルで過ぎ
さないと人並に思われぬ、世の中は何と、私たちの
知る本当のクリスマスと遠い所にあるのでしょうか。

私の所属する森小路教会の永井修牧師は、「1年
の最後の月に、そして新年の先駆けに、この世に希
望の光を与えてくださった御子の誕生を祝う意味を
考えましょう」と、毎年クリスマスに語られます。
すべてにいいよ厳しさを加え、駆け足で過ぎて行
こうとしているこの1年。クリスマスの諸集会、諸
プログラムで改めてその意味を聞きたいと思います。

* 出費のかさむ時期ですが、クリスマス献金、ユース
リーダー安全基金へのご協力をお願いいたします。

* 「いのちの電話」八尾事務局より、バザー応援
感謝の手紙がまいりました。御報告いたします。

お年玉年賀はがき
当選の切手シートを
集めよう

年賀状を書く時期になりましたが、準備はいか
がですか？

今年、いや来年もワイズ恒例のお年玉付き年賀
はがきの当選切手シートを集めましょう。

抽選は1月15日ですが、知人・友人に送る年賀
状に一言書き添えて協力を依頼すれば、それだけ
多く集められます。例えば「ワイズメンズクラブ
ではYMCAと共に世界の恵まれない人々の支援
のため、4等当選の『お年玉切手』を集めていま
す。ご賛同頂けるなら交換した切手シートを私宛
にお送り下さい」というように・・・。

とにかく、当選切手シートを1枚でも多く集め
て下さい。

今年の目標は一人1,800ポイントです。
なお、はがき下部の番号の所を切り取って集めて
も無効ですから、ご注意下さい。

(CS委員：山田)

[お知らせ]

◎神戸ポートワイズメンズクラブチャーター10周年
記念行事

日時：1998年5月9日(土) 2:00～6:00p.m.

場所：JR神戸線「住吉」駅前 「うはらホール」

プログラム：チャリティコンサート

記念パーティ

会長 鈴木誠也

10周年実行委員長 石坂哲郎

◎西日本区大会(案)

●期日：1998年6月13日(土)～6月14日(日)

●会場：倉敷市芸文館

●プログラム：

○6月13日(土) 9:30 西日本区役員会、

11:00 代議員会、メネットアワー

大会式典(第1部) 13:00～16:30

バナーセレモニー、理事報告など

於 倉敷芸文館ホール

(第2部) アトラクションなど 16:30～17:30

フェローシップアワー 18:30～20:30

於 倉敷アイビスクエア

○6月14日(日) 聖日礼拝 8:00～8:30

於 日本キリスト教団倉敷教会

説教 東中国教区議長 柏木牧師

(第3部) 9:30～11:00 表彰式など ***

秋の一泊研修会 報告

前日までの寒さが和らぎ、小春日和の穏やかな11月2日(日)の夕刻から、今年2回目の一泊研修会が、大丸健保淡輪保養所「ヴィレッジタンノワ」にて、MET担当秋月利英君のいつも変わらぬ懇切なお取り計らいで進められました。

この保養所は以前一度つつじの美しい季節に利用させて頂いたので、なつかしさも加わって何か安らぎを覚えたものです。

今回は、我々の活動に必須の課題として「ファンドの充実」が大きなテーマに取り上げられました。そのこともあってか、参加者も22名にも昇って熱意溢れる研修会になったことは、御同慶の至りです。

まず、夕食、淡輪の環境が活かされた魚すきはまた格別、それぞれのテーブルで談笑のうちに目の前の煮え立った鍋に舌鼓を打ちました。

食後、地下に降りて、ファンド担当の隅田保君の司会で本題のテーマの討議に入りました。まず、秋月君よりニコニコ献金とクラブファンドの合計が約938千円になることなどの現状報告がなされましたが、100万円を切っているのはなさけない！という或るメンバーの意見もあるとのことで、大いに考えさせられました。

次いで、鈴木メンより一つのアイデアの提案があり、多額の売上を上げているジャガイモの例もあるので、継続的に日常消費するものに目をつけた処、アジア学園関係の農家などの米を斡旋してはということがありました。また「Aloma Royal」などのコーヒー販売についても提案が出されました。これは既にメネット会やなかのしまクラブでも検討されているそうです。

そこで、秋月メンより、まず委員長が判断する資料をつくる委員会を委員長の下に設置してはとの発言があり、それを検討するメンバーとして、秋月、隅田、津田葉、三浦、山田各メンが挙げられ、全員の同意を得て、早速、11月第1例会後に第1回の委員会を行うことが決まりました。本当に素晴らしいことです。是非本企画を成功させて、実り豊かな成果が挙げられるようお互い祈りたいものです。

真剣な討議の後は、恒例の秋月君によるお遊びの楽しい時間—といっても、頭を酷使しても一寸解答が見出されない難問山積—に挑戦ということになりました。運動神経の課目あり、心理学という握力と脳力の問題や社会学と称して航空会社とその略語を当てるクイズなど。漢字の問題は時間がなくて出来ず、残念千万。

よくもこんなにいろいろ問題が作れるものと感心しながら頑張る姿は、さすがセンテニアルというところノ



(参加者全員 大丸健保淡輪保養所にて・・・角君撮影)



(真剣に討議される「ファンドの充実」)

でしょう。各人成績に対する表彰を受けて、喜びのうちに夜半過ぎ終了。

翌朝、朝食後、睡眠不足にも打ち克って、折角の機会ということもあり、秋月君の案内で和歌山地方の黒潮市場や名所旧跡を訪ねるなど、皆さんそれぞれ自由行動に入り、秋晴れの好季節の一泊研修会を無事終えることが出来ました。

・参加者：秋月、池永、栗山、黒田、坂本、鈴木、角、隅田、谷川、津田葉、藤原、三浦、山田、山村、福永の各メン、池永、坂本、隅田、鈴木、山村、福永の各メネット、坂本コメント
(メン：15名、メネット：6名、コメント：1名、計22名)

(福永嘉彦 記)

(お詫び) 坂本メネットのご報告と一部重複しますが、記録として報告します。11月号には紙面の都合上掲載できず、遅くなり相済みませんでした。(YF)

= インフォメーション =



淡輪にて



メネット会長 中村 幸枝

中西部、骨髄バンクチャリティー合同メネット会が平成10年2月7日(土)にロイヤルホテルで開催される事が決まったそうです。多くの方のご出席をお願いします。

~~~~~  
センテニアルメネット会では、コーヒーとストッキングを販売することになりました。  
お求めやすい価額、使い勝手のよいようにと、ラッピングも致しましたので、ご利用下さい。  
~~~~~

= メネットだより =

バザー報告

柴田 暢子

11月1日、数日前の暖かさはどこへやら「関西のちの電話」創立24周年記念バザーが十三の博愛社内教会で催されました。午前11時から始まり3時頃まででしたが、寒風の中ボランティアの皆様頑張られ、大変だったと思います。私は出席が遅れ、何の役にも立たなかった事皆様に申しわけなく思っております。

バザー商品は、メンの方達が果物、みかん、柿、リンゴの販売をされました。メネット達は、山村様が寄付してくださった女性衣類の販売でした。売り上げは好調で、完売と云った所でした。私達は、2、3枚いたゞきました。いつもありがとうございます。果物の方はたくさんありましたから残りましたが、上々の売り上げで、ハンパのものは、センテニアル一泊研修用として持って行かれました。きっと季節の果物で食卓がにぎわい、お話に花が咲いた事でしょう。ボランティアの皆様、朝から立ちっぱなしでさぞお疲れの事と存じます。夕暮れの後片付け時は寒さが身にしみましたが、センテニアルの皆様は、和気藹藹としてボランティアの成果に満足されたご様子で帰途につかれました。

当日の出席者は、黒田メン、福永メン、山田メン、山村メン、津田葉メン、三浦メン、中村メネット会長、福永メネット、山村メネット、隅田メネット、坂本メネット、柴田でした。***



坂本 千春

11月2日、3日と、大阪の南の端、淡輪でセンテニアルの一泊研修会がもたれました。私は一家総出で参加させて頂きました。当日、少し早目に現地入りし、夫と息子拓也は、海釣りを楽しみました。

夕食時には参加者全員がそろい、くじ引きで決まった席でそれぞれ新鮮な魚の鍋料理を十分にいただきました。

その後、ファンドについての例会が持たれましたが、メネット会からは、これから売り出そうと計画中のコーヒーを皆様にお披露目しました。試飲なさった方々お味はいかかだったでしょうか？ 例会のあとの秋月メン主催のゲームはとっても楽しかったです。子供の頃にもどった様な気持ではしゃいでしまいました。隅田メネットが飛行機会社の名前をよく御存知なのに驚きました。もしかして以前フライトアテンダントだったりして…(?)

私の部屋は、鈴木美藤メネットをのぞいて、福永メネット、山村メネット、隅田メネット、池永メネットとの5人部屋でした。ゲームが終ったのが午前1時頃なのに、それから又、おしゃべりをしていました。女の人っておしゃべりが好きですね。今回池永メネットとお知り合いになれてうれしかったです。翌日は拓也の希望でみさき公園へ遊びに行き、親子してジェットコースターに絶叫してきました。盛りだくさんの楽しい休日でした。お世話して下さいました方々に感謝します。

=====
感 謝

山村 利子

15周年おめでとうございます。

黒田さんのお誘いで大阪クラブに入会する事になりワイズメンズクラブとは一体何であるかも判らずに、ただ主人について入会式に出席したこと、資料を読んで大阪クラブは伝統のあるクラブであり、又、名簿を見て同じ教会所属の菅田さんの名前もあり、千里クラブには坂口さん、高橋さんの名前もあり、びっくりした事がきのうの事のように思い出されます。

さて、あれから15年、第一に鈴木さんご夫妻はじめセンテニアルクラブのすてきなメンのみなさん、私達メネットをぐんぐん引っ張って、指導をして下さり、又、上手に用いて下さいました。

第二に今こうして夫婦で参加させて頂き、共通の友達ができ、共通の話ができ、そして共に成長させて頂き、感謝申し上げます。クラブのみなさん、これからもご指導よろしく願います。***

◇◇◇ クラブ・ソング ◇◇◇

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;
We raise our hand, Our service pledge renewing,
Ne're to deny our motto's claim,
Y's Men in fact as well as name,
Always our objects to pursue,
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに
ともがき ひろがりゆきて
とおきも ちかきもみな
ささげて 立つやワイズメン
さかえと ほまれゆたか
まことは 胸にあふれん

😊 ニコニコ・メッセージ 😊

- 古巣での例会は、いごちのよい例会でした。
15周年おめでとうございます。私達も15年を過ごします。・・・(なかのしまクラブ会長) 杉浦真喜子
- 先月に続いて2回目の出席をさせていただきましたが、皆さまが温かく迎えてくださり、ホッとするとともに、感謝申し上げます。・・・高井智彦
- *山村さんのお話にもありましたが、どんなに金銭的に価値が落ちてても、切手は集め続けるべきだと考えます。ワイズの原点の一つであると思います。
*山中氏のビデオレター大変勉強になりました。
感謝!! ・・・秋月利英
- クラブチャーター15周年、めでたいことです。センテニアルの歴史を聴いて面白く思いました。
・・・池永洋宣
- チャーター時の写真を拝見しました。何と皆さんのお若いこと!! 15年間営々と続けてこられた活動を引継ぎ、更に発展させて行こうではありませんか。
・・・栗山佳三
- お互いに我がクラブの創立15周年を祝いたいと存じます。
・・・黒田殿之
- 今日はチャーター15周年例会、時の早さを感じます。家内ともども今の幸せを感謝いたしております。クラブの皆さまありがとうございます。又表彰状まで頂き感謝です。
・・・柴田 健・暢子
- 山中元会長のビデオによる挨拶は内容素晴らしく味わい深いものだった。15年前を思い出し、懐かしさいっぱい、これからも頑張ります。
・・・鈴木謙介・美藤
- センテニアルワイズ15周年おめでとうございます。YMC A 100周年(センテニアル)記念を引きついで、奉仕の業をこれからも。益々ご活躍を。・・・角 正信

= B F 1 1 月度報告 =

- 切手提供者:
秋月君, 栗山君, 柴田君, 鈴木君, 隅田君,
角 君, 田中君, 中村君, 福永君, 三浦君,
山田君, 山村君 計12名
- 現金提供者:
黒田君, 栗山君, 福永君, 山田君, 山村君
計 5名
(BF: 山村 幸明)

= B F NEWS (10/1) より =

- *目標: 3,000円/1人 ●西日本区目標: 500万円
- *事業方針: BFへの貢献「0クラブ」0へ
BFデリゲートへの積極的な参加
- *第一回西日本区大会における表彰基準:
①100%達成賞 ②上位10クラブ表彰
③上位3部: 部表彰
④主任特別賞: BF事業へのエグなアイデアで貢献したクラブ
- *切手送付: 現品と台付切手通知書を同封, 福尾昇一氏(経理担当)へ。切手最小送付単位: 1kg.
- *現金送付: クラブより西日本区会計へ。
(報酬: 12/15 割分, 5/15 割分)

- センテニアルクラブの大きな歴史を感じました。
・・・隅田恵子
- 当クラブ創立15周年に当り、創立時を想出すことが出来、感謝。
・・・田中樓二
- なつかしき山中メン、ありがとうございました。
チャーター15周年の今日、私はセンテニアルを楽しませて頂いております。
・・・中村幸枝
- 祝チャーター15周年記念。
山村メンのBF精神を更めて学びました。感謝。
山中初代会長のお話にセンテニアルの独自性を覚えました。有難うございます。・・・福永嘉彦・滋子
- チャーター15周年記念例会となりましたが、ご出席のチャーターメンバーがいつでも心身共に若く、クラブ活動の中心としてご活躍されていることに大きな感銘を覚えております。今後共共通のクラブ目標に向って全員の力が結集できればと念じております。
・・・藤原正巳
- 15周年記念例会を祝して。
先輩方のご努力に敬意を表します。・・・三浦直之
- チャーター15周年記念の例会に山中初代会長のビデオ参加が実現し、又いつもながらの名スピーチに感激です。
・・・山田孝彦
- 15周年記念例会、お目でたう御座います。
・・・山村幸明

[編集後記] 今年もクリスマスをお祝い出来ることを感謝しながら、楽しいお交わりを祈ります。(YF)